

安カ川信之様【視察調査報告書】

会派名	笑顔みらい波川
派遣員名	3名 福島丘泰、高野佳美、中澤功史
日程	令和5年7月27日(木)
目的	議会改革に積極的に進めている議会の取り組みについて視察し、本市の議会改革の参考とする
視察先	つくばみらい市議会(茨城県つくばみらい市)
視察内容及び概要	<p>(1) 特定所管事務調査 委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査。地方自治法上、常任委員会の役割について「その部門に属する当該普通公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する」と規定されている。常任委員会の発議により、市政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な施策や施策を積極的に提言するもの。</p> <p>(2) 議会のデジタル化 タブレット貸与とLINE EORKSの導入 議会のペーパーレス化のため各議員にタブレットを貸与し必要なアプリを導入するもの。 事務局から各議員への連絡方法を統一し、事務局の負担軽減等を図るもの。</p>
員所感 (意見・課題・本市への反映など)	<p>(1) 特定所管事務調査 本事務調査のメリット ①委員会の調査地を当該調査項目に限ることができ、担当部局の課長等と同行することで一緒に勉強することができる。 ②従来は、議会開会前の議員全員協議会において委員から多くの情報をエッセンスのみ方向を受けるだけであったが、閉会中の委員会において行政報告として詳細な説明を受けることができるようになった。 ③市長に最終報告について提言することで、担当部局に回答を受けることができる。</p> <p>(2) 議会のデジタル化 デジタル化のメリット ①タブレット導入により、ペーパーレス化が図る。合わせてモアノート導入により、会議中の画面を同期することが可能となり、議論の内容を共有することができる。また、タブレットから素早く必要な資料にアクセスが可能となる。 ②LINE WORKS導入により、連絡方法が統一化され、事務局の負担軽減、市民からの情</p>

報提供が増加、議長あての情報も全議員と共有することが可能となった。また、スケジュール機能により議会日程等の確認が容易となる。

③災害時、災害対策会議が設置されると、LINE WORKSと連動されることで各議員と情報共有が可能となる。

なお、令和5年度中は移行期間として紙資料とタブレットの併用であったが、令和5年度からは完全デジタルのみとしている。

(3) その他

つくばみらい市ならではのおみやげは？という問いに、「太郎兵衛煎餅」の1点だった。また、つくばエクスプレス線開通による人口増はあるものの、観光地はない。本市は、伊香保温泉をはじめとする観光スポットが数多くあり、また、お土産もこがねいも、温泉まんじゅうをはじめ多岐にわたる。観光スポットを活かした関係人口の増加を見込んだ政策を打ち出していくべきと感じた。

